

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの間で適切であるか	4			洗面、安静室、男女別々のトイレ、洗面以外に40㎡の活動スペースを用意している。また、天井高は3mと広々としたスペースになっている。
	②	職員の配置数は適切であるか	4			適切なスタッフを配置している。児童指導員加配加算も取っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			生徒が入り出すところは全てバリアフリーになっている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		4		業務改善としての大きな枠組みのPDCAに展開していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			保護者さまにアンケートをとり、頂いたご意見を直ぐ取り入れるよう話し合っった。災害時の連絡方法などが曖昧だと指摘を受け。早急に対応して保護者さまに回答をした。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			ホームページに掲載している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			4	外部評価は受けていない。今後、どうしていくか話し合っていく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか		3	1	定例の研修会を実施しているが、外部の研修は人員、時間の関係で十分に出来ていない。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		アセスメントに従い毎日、個々の生徒について対応方法などの話し合いを行っている。中身が多く話し合いの内容が書面に残っていないケースが多い。アセスメントのバージョンもPDCAで改善していきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	2		使用している。アセスメントツールに改善も話し合っている。

適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			チームで話し合いイベントなどを含めたプログラムを立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4			学習支援、習い事放デイになり、勉強の後の時間が少ないが固定化しないように工夫をしている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1		学校休日はイベントを入れるように色々話し合いプログラムを立案している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			おこなっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			毎日、来所する生徒の個性を考慮した支援の内容を考えている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			4	翌日のミーティングで実施している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		4		話し合いが中心になり、書面に残すことが十分に出来ていない。今後の課題として取り組んでいる。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	1		おこなっている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	3	1		おこなっている。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	1		参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	3	1		おこなっている。

関係機関 や 保護者との 連携 関係 機関 や 保護者との 連携	⑳	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			4	整えていない。
	㉑	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			4	出来ていない。今後の課題として話し合いをおこなっている。
	㉒	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			4	障害福祉サービス事業所に移行した生徒がまだいない
	㉓	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			4	受けていない。
	㉔	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	1	自治体のこどもイベントに参加しているが、自治体のが高齢化よりイベントがすくなく現在は年に1度の餅つき大会だけになっている。
	㉕	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか			4	出来ていない。
	㉖	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3		1	連絡帳、メールを活用してまめにデイの出来事やデイの出来事などの連絡を行っている。
保護者との 連携	㉗	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			4	おこなっていないが、保護者さまの経験を共有化する座談会、勉強会は行っている。
	㉘	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			おこなっている。
保護	㉙	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			保護者カウンセルという名目でおこなっている。保護者さまによっては数回になっている。

者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4			共通のテーマに関連する保護者さま同士の座談会を催している。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		事故があった直後に保護者に電話でし、状況を説明している。連絡できないときはメールで詳細、状況を報告し、後ほど電話で説明を行っている。
非常時等の対	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			メールを活用しておこなっている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	4			十分に注意をはらっている。個人情報の破棄はシュレッターを使っているしている、
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3	1		メール、カウンセリングを通じておこなっている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		3	1	一部の住民以外あまり行われていない。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		3	1	マニュアルという形式ではないが通知形式で周知している。
非常時等の対	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			4	6月に実施予定。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか			4	おこなっていない。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			4	できていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1		できている。

応	④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1		おこなっている。
---	---	----------------------------	---	---	--	----------